

かななみ 社協だより

No.157 令和3年
7月15日
発行

社会福祉法人 函南町社会福祉協議会
函南町平井717-28 TEL(055)978-9288
ホームページ <http://kannami-syakyo.jp/>

※写真は体力測定会のイメージです
(2019年8月29日開催「体力測定会」
の様子で実際の会場とは異なります)



体操教室・楽らく

「介護予防ボランティア」と体操や、
脳トレ、食習慣の見直しなどに取り
組む活動を始めました！

7月スタート

※写真は体力測定会のイメージです(2019年8月29日開催「体力測定会」の様子で実際の会場とは異なります)



こんな方はいませんか?
最近、
立ち上がる時は
何かにつかまるのが
クセになって
いるなあ...

楽しく・らくに動ける体づくりを 体操教室・楽らく 始めました!

7月から、函南町社会福祉協議会は「介護予防ボランティア」の皆さんと一緒に、介護予防を目的とした体操や、脳トレ、食習慣の見直しなどに取り組みむ活動を始めました!
これまで「介護予防ボランティア」の皆さんは、地域の居場所へ出向き、参加者の皆さんと一緒に体操をする活動を平成28年度から行ってきました。

しかし、コロナ



ボランティアさんもやる気マンマンでお待ちしております!

禍の中、なかなか地域の居場所へも出かけられない方もいらっしゃると思います。そうした方へまず「元気で過ごすための習慣づくり」を目的とした週1回の体操等を行うプログラム(3ヶ月間)をご用意しています。

- 【日程】 毎週木曜日 13:30 ~ 15:00 (3ヶ月で12回開催)
- 【会場】 函南町保健福祉センター2階 教養娯楽室
- 【内容】 健康チェック、体力年齢の測定、自身体力トレーニング、脳トレ、ミニ講座など
- 【募集】 最大10人(送迎は6人まで)
- 【対象】 次の内容に該当する方
 - ・65歳以上で、介護保険制度による認定を受けていない方
 - ・面談等により介護予防の必要性が認められる方
- 【参加費】 1回あたり100円 (3ヶ月合計1,200円)

第2クール(10月~12月)・第3クール(令和4年1月~3月)参加者募集中
参加ご希望の方は、まずは函南町社会福祉協議会へお問合せください! (☎055-978-9288)

D-Cカフェ



6月15日(火)に、民間企業の地域貢献活動と、住民の皆さんの地域活動のコラボレーション企画として、ダイハツ沼津函南店にてコミュニティカフェを開催しました！

カフェの運営には、直売した野菜を育てた「みんなで作るコミュニティ農園・ときどきファーム」の参加者をはじめ、町内の障

がい福祉事業所や地域包括支援センターの職員等様々な人や機関が協力しました。『地域の支えあい』は堅苦しいものではなく、出来ることから・楽しんで行うことが大切、ということをマスクの下の笑顔が教えてくれました。

また皆さんに楽しいお知らせができるよう、企画を考えていきます！

事業報告及び決算報告の詳細はホームページにも掲載しています

令和2年度 事業報告



認知症カフェ「ふる～るカフェ」@県立田方農業高校

令和2年度は、平成28年度から5年間で計画した「第5次地域福祉活動計画」に沿って活動した集大成の年でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業が中止となりました。

様々な制約の中の活動でしたが、住民の皆さんのご支援・ご協力のもと、各種事業を実施することができましたこと、厚く御礼申し上げます。

基本目標 3 利用しやすく質の高い福祉サービス

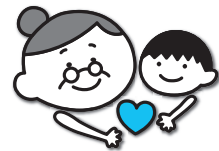
主な事業内容

- ・地域包括支援センターの運営
- ・介護保険事業の実施・わかきさ共同作業所の運営
- ・生活困窮者自立支援事業、日常生活自立支援事業の実施、成年後見制度の推進(市民後見人の養成等)

基本目標 1 一人ひとりに育てる福祉の心

主な事業内容

- ・福祉教育実践校事業の推進
- ・ボランティア活動の育成
- ・福祉大会の実施
- ・男性の料理教室の開催



基本目標 4 やさしさと安全に包まれた地域環境

主な事業内容

- ・ベビーキッズ用品の貸出
- ・車いす、福祉車両の貸出
- ・災害ボランティアネットワークかなみへの協力
- ・認知症カフェ、認知症サポーター養成講座の開催

基本目標 2 お互いが支え合う地域づくり

主な事業内容

- ・在宅介護者茶話会の開催
- ・居場所「いこう家つかもと」の運営
- ・移動支援事業「かなみおでかけサポート」の実施
- ・「かなみ暮らしの応援隊」の実施

7月は「社会を明るくする運動」強調月間

今年で71回目を迎えた「社会を明るくする運動」は、すべての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

活動の一環として、小・中学生の皆さんからポスター作品を募集し、総数209点の応募がありました。入賞者の児童・生徒の皆さんおめでとうございます。

特選

※ポスター入賞者順不同・敬称略

- 植松 明日花 函南小学校6年
- 関山 紅花 丹那小学校6年
- 森 紗 菜 桑村小学校6年
- 田中 レオナ 西小学校6年
- 佐藤 夢歩 東小学校6年
- 白井 萌優 函南中学校2年
- 仁藤 咲夏 東中学校2年



東中学校2年 仁藤 咲夏さん作品



- 土田 倫楓 函南小学校6年
- 大塚 結衣 丹那小学校6年
- 加藤 優奈 桑村小学校6年
- 大澤 恒太 西小学校6年
- 宮下 杏奈 東小学校6年
- 柴田 莉奈 東小学校6年
- 白井 美紘 函南中学校3年
- 木内 梨乃 東中学校1年
- 瀧澤 杏 東中学校3年



- 稲田 華恋 函南小学校6年
- 蛭沼 南凪 丹那小学校6年
- 加藤 倅那 桑村小学校6年
- 塔ヶ崎 結乃 桑村小学校6年
- 寺井 麟平 西小学校6年
- 大村 奈々夏 東小学校6年
- 山下 結愛 東小学校6年
- 曾原 惺羅 東小学校6年
- 山田 佑咲 東小学校6年
- 久保田 夢姫 東小学校6年
- 立川 楓菜 函南中学校1年
- 畠山 美里 函南中学校1年
- 白井 優奈 函南中学校1年
- 大川 真央 東中学校1年
- 長島 馨子 東中学校1年
- 鈴木 優心 東中学校2年

福祉教育実践校 出前講座 in 丹那小学校

4月20日(火)、丹那小学校の4年生を対象とした福祉教育の出前講座を開催させていただきました。昨年はコロナ禍の影響により中止にしたため2年ぶりの開催となりました。



講座の前半はパワーポイントの教材を使用し、「ふくし」について説明しました。地域には様々な方が暮らしており、それぞれ考え方や想いが違うのでそれを理解し、認め合い、自分らしく地域で暮らしていくこと、それが「ふだんの・くらしの・しあわせ」であり、「ふくし」に繋がるといって授業をしました。

後半は、ユニバーサルデザインの文房具の使用と車いすの乗車体験を実施しました。これは

実際に『触れる』体験をすることでより理解を深めることを目的としています。最後にコロナ禍における注意事項として、様々な場所でクラスターが発生していることについて、たとえば周りにそのような所へ通勤や通学などしている人がいたとしても、差別や偏見を持たないようにして欲しいと伝えました。

皆さん積極的に楽しそうに参加している姿がとても印象的でした。

「もったいない」から「ありがとう」へ

フードドライブにご協力をお願いします

フードドライブとは、家庭に眠っている食品を集めて、フードバンクに寄付する食品寄付運動のことです。寄付していただいた食品は行政や社会福祉協議会、支援団体を通じて食べるものがなく困っている方々にお渡しいたします！

〈実施期間〉 令和3年8月2日(月)～8月31日(火)

〈回収場所〉 函南町社会福祉協議会
(保健福祉センター入口)

〈希望食品〉 保存食品(缶詰、瓶詰等)、レトルト食品、インスタント食品、調味料、食用油、お米、のり、ふりかけ、飲料(ジュース、コーヒー、紅茶等)、お茶漬け、ギフトパック(お歳暮、お中元)等々常温保存が効くもの

〈食べ物を寄贈するときの注意〉

- ①賞味期限が2か月以上あるもの
- ②賞味期限が明記されているもの
- ③未開封であるもの
- ④お米は常識の範囲で古くないもの

〈問合せ〉函南町社会福祉協議会

電話 978-9288



food bank FUJINOKUNI
フードバンクふじのくに

温かいお気持ちをありがとうございました

お寄せいただいた多くのご寄付は、地域福祉活動へ有効に活用させていただきます。(敬称略・順不同)

6/15
受付分
まで

物品寄付 青木敏和(塚本)牛 / 石井京子(仁田)切・ウ / エームサービス(株) NTT 東日本伊豆病院事業所(平井)牛 / 越後恭子(塚本)牛・切 / 遠藤美徳(柏谷)ア・牛 / 柿沢台交友会ブ・牛 / 梶谷(柏谷)ブ / 上沢15組ア・ブ・牛 / 神田京子(上沢)牛 / 幹寿会(新幹線)ブ・牛 / 坂上紀子(平井)牛 / 志太幸枝(畑毛)ブ・切・ハ / 城山サロンア・ブ・牛・切・ウ・ハ・オ / ダイヤランドお助け隊ブ・牛 / 戸田尚義(仁田)ブ・切 / 南地美枝子(柿沢台)ブ・牛 / 真野真弓(新幹線)ブ・牛・ウ / 間宮サロン「葉月」牛 / 山田静子(柏谷)ア・牛 / 山本康子(仁田)エ / 楽声(ダイヤランド)牛・切 / 仁科俊二郎(柏谷)ブ・切 / 木内啓司(間宮)ブ / 御手洗均有志一同(新田)ブ・牛(5月号未掲載分) / 静岡トヨタ自動車株式会社 加湿空気清浄機1台 / 平山多栄子(柏谷)おもちゃ



JA 三島函南より平井スイカを寄贈いただきました

JA 三島函南より平井スイカ40玉を寄贈していただきました。6月15日(火)にはわかくさ共同作業所にて寄贈式を開催し、利用者の皆様へ大きく立派なスイカが手渡されました。このスイカは他にも町内保育園や福祉施設の皆様にも配分しました。

その他匿名でご協力くださった方々ありがとうございました!!

牛 牛乳パック ウ ウエス ブ プルタブ ア アルミ缶 切 古切手等 ハ ハガキ オ 紙おむつ

エコキャップ回収は新型コロナウイルス感染症の影響により一時休止中です。再開する際はお知らせいたします。

こんにちはボランティア 第110号

函南町ボランティア連絡協議会
問合せ先 978-9288

インターネットを使った活動を始めました！

リモート(Zoom利用)でつながるボランティアの輪!!

函南町ボランティア連絡協議会ではコロナ禍で施設訪問できないなか、令和3年2月から直接対面なくともいいインターネットを利用し、歌や紙芝居、踊りや演奏、おしゃべりなどで施設とつながるボランティア活動を行っております。

函南町社会福祉協議会にあるボランティアビューローを発信元として、伊豆白寿園(施設)の入居者様とやりとりしながら、楽しんでいただける映像を届けています。



実際にリモートをやってみて…

〈伊豆白寿園相談員〉

入居者様も久しぶりにボランティアの方々との交流ができて、笑顔がいっぱいでした。

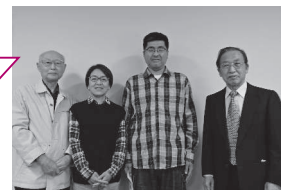


〈音読グループつくし〉

プログラム通りにできるか心配だったけれど、楽しくできました。

〈こころでつながる仲間〉

カメラを向けても、和やかに進めていけるようにサポートしています。



〈たんぼぼグループ(歌と踊り・八舟会)〉

カメラの前で最初不安がありましたが、施設訪問と何ら変わらず演ずることができました。



リモートによるボランティア活動を受けてみたい施設様、募集中!!

函南町ボランティア連絡協議会では、パソコンやカメラワークなどに興味があるボランティアが集まった「こころでつながる仲間」が所属しています。Zoom使用にご不安のある施設担当者様のサポートも致します。ぜひ一度、お問い合わせください。

一緒にボランティア活動しませんか？

自分の関心のあるテーマや趣味、特技を生かして活動できます。お気軽に函南町社会福祉協議会までご連絡ください。

コロナ禍でも募集中のボランティアグループ

施設作業、収集、点字、園芸、傾聴、つくし、こころでつながる仲間など

新グループ紹介

「さきいかシスターズ」

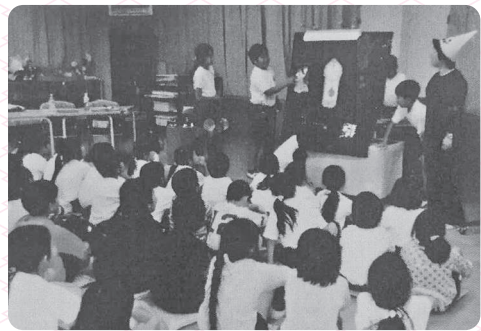
岡根 千恵子

「さきいかシスターズ」は、丹那小での読み聞かせからスタートしたグループで、ブラックパネルシアターをメインに活動しています。

ブラックパネルシアターは、部屋を真っ暗にしブラックライトを照らす事で、蛍光絵具で色を塗ったり描いたりした登場人物や背景を、色鮮やかに浮かび上がらせて絵本の世界を表現しています。

初めて見る子ども達も多く、その喜ぶ表情に私達は元気をもらっています。

写真は、学年末最後のブラックパネルシアターで、6年生が絵人形や背景をお話に合わせて動かし、下級生に披露している様子です。



グループ紹介

傾聴ボランティア「こだま」

山本 惇

昨年来のコロナ禍の為、施設訪問、個人宅訪問の傾聴ボランティア活動は殆ど休止の状態です。

この空いた時間を利用して「こだま」の会員は3つのチームを作り現在次の作業を進めています。一つ目は「こだま」が発足10年目を迎えましたので、活動を振り返り、記録をまとめる「こだま、10年のあゆみ」の作成作業、二つ目は傾聴ボランティア養成講座用テキストの見直し作業、そして三つ目は「こだま」のPR用チラシの作成作業です。特にチラシは従来のもより簡潔で一目で分かるようなものを心掛けて作成しています。三つの作業とも近々完成の予定です。

現在「こだま」では新規会員を募集しています。

傾聴ボランティアに興味をお持ちの方、またやってみたい方は函南町社会福祉協議会までお問い合わせ下さい。会員一同お待ちしております。



ボランティアの皆さんを通じて地域と繋がりたい

伊豆ライフケアホーム

施設長 青木 章一

青空の下、明るい笑い声が園芸の畑から響いてきます。園芸ボランティアの皆さんには、新型コロナ禍においても屋外での活動をお願いしてきました。ボランティア活動を拝見すると、地域の中で一つのコミュニティが築かれていると強く感じます。

地域共生社会の実現が目指されているなか、障がいを抱える方々も地域と繋がり、社会の一員として生活できるようにしていくのが私たちの役割と考えています。ボランティアの皆さんとの交流は地域と繋がる貴重な機会とも言えます。

今後も障がい者も含む人間の多様性を地域で受け入れられるよう、力を貸していただきたいです。



参加費無料！初心者大歓迎！みんなでつくりましょう！

みんなでつくるコミュニティ農園 ときどきファーム

2021年度
参加者募集



野菜づくりに興味のある方は、たくさんいらっしゃいます。

しかし、なかなか「初めての野菜づくり…コツがわからない」「何から始めたらいいのかな…」という方も多いでしょう。

知識や技術が無いことによる、「ひとりでやる不安」も、身近な先生によるアドバイスを受けながら解消し、参加者同士“ときどき”顔を合わせ、世間話をはさみながら作業しあう…そんなゆるやかな農園活動を目指します。

* 区画をそれぞれ区切るのではなく、参加者は同じ区画を耕します。(農園の場所：柏谷)

* 収穫物は参加者で分けるだけでなく、町内保育園との交流や、P2に掲載した「D-Cカフェ」のような地域活動への活用も行います。



第1回活動日(参加者ミーティング)

日時 9月21日(火)10:00～12:00
 会場 函南町役場 2階 大会議室
 内容 活動内容の説明等
 対象 概ね65歳以上で野菜づくりに興味のある方
 定員 10人程度
 申込 9月10日(金)まで【先着順】
 問合せ 函南町社会福祉協議会 ☎055-978-9288

社会福祉法人 函南町社会福祉協議会

TEL(055)978-9288



〒419-0107 函南町平井 717-28 保健福祉センター 2階
 〈ホームページ〉 <http://www.kannami-syakyo.jp/>
 〈メールアドレス〉 chiiki-info@kannami-syakyo.jp

◇地域包括支援センター TEL(055)978-1700
 ◇ほほえみの里デイサービス TEL(055)978-1771
 ◇わかくさ共同作業所 TEL(055)978-6038